

成田小



これがイチオシ

練習頑張り金賞目指す

成田小学校金管バンドは4～6年生の24人で元気に活動しています。毎年秋のマーチングバンドの大会で金賞を獲得して、全国大会に出場することを目標に朝練や土曜日練習を頑張っています。

管楽器や打楽器の他に、旗を振って演技をするカラーガードのパートがあり、ショーが華やかになるのが自慢です。動きながら演奏するのはとても難しいけれど、練習を積み重ねてみんなの動きと音が合うようになると、達成感を味わえるので楽しいです。

学校名 富谷市立成田小学校
所在地 富谷市成田3の1の1
創立 2007年
電話 022(351)7567
校長 菅原 志都
児童数 196人

鬼ごっこで思いやり育む

異学年との温かい交流

成田小学校では、児童が「なかよく助け合う子ども」「りっぱな体に鍛える子ども」「たのしく学習に取り組む子ども」を目標に毎日の学校生活を送っています。学校の特色の一つが、異学年で交流する活動です。

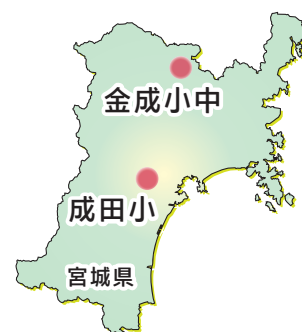
全校児童が八つの班に分かれ、朝の「あおぞらタイム」では、校庭や体育館で鬼ごっこやドッジボールなどを楽しみます。学年の枠を超えて交流すること、自然と思いやりや助け合いの心が育まれています。

6年生は休み時間に1



編集委員 山本咲希、我妻小春、上野慶人、佐々木来那、佐藤嘉紀、高橋大弥 (6年) 指導教員 高橋徹、伊藤詩織、内海慶信

わが校わがまち スクール通信



次回は
菅谷台小 (利府町)
郡山小 (仙台市)

学年を超えソーラン発表

学校行事は小中学合同

金成小中学校は、学校名の通り小学校と中学校が一緒になった学校です。行事の多くは小学生と中学生が合同で行います。その中から「金成小中祭」を紹介します。

毎年10月に2日間の日程で、1日目は金成ソーランの発表です。1～9年生がたて割りの8班に分かれ、振り付けや隊形を工夫したオリジナルのソーランを披露します。

学年を超えて協力することで、班の仲も深まり、心を一にした迫力ある演技を見せます。



全小中学生が班を組んで披露する金成ソーラン

編集委員 佐藤咲月、岩瀬凌雅 (6年)
指導教員 狩野宗太郎、加茂比奈乃

金成小中



これがイチオシ

地域とのつながり大切

金成小中学校では、地域とのつながりをとても大切にしています。1年生は学校探検の動画を地元の幼稚園児に見てもらいました。2年生は、地域の人から地元の施設や仕事を教えてもらいます。3年生はリンゴ農家で特産「小堤りんご」について学びました。

4年生は特産「金成みそ」、5年生は米作り、6年生は国重要無形民俗文化財の「小迫の延年」をそれぞれ学習しました。このように、私たちは地域の人たちに支えられ、大切な古里について知ることができています。

学校名 栗原市立金成小中学校
所在地 栗原市金成小迫高見山35の3
創立 2014年
電話 0228(42)1047
校長 菅原 健志
児童生徒数 児童181人、生徒136人

山車に花火にぎわう夜

巨理で「夏まつり」、灯籠流しも



河北新報から



回転する山車に乗り、氣勢を上げる参加者ら

巨理町の夏の風物詩「わたりふるさと夏まつり」(実行委員会主催)が8月15日、荒浜地区の鳥の海公園周辺であった。晴天に恵まれ、観光客や地元住民らでにぎわった。勇壮な山車のパレードや伝統芸能のステージ、5000発の打ち上げ花火が会場を盛り上げた。

メインイベントのパレードは、巨理伊達家の初代当主をたえる「成実はやし」に合わせ、子ども山車を含む約7基が町道約540mを運行。交差点に山車が差ししかると左右に勢いよく回転し、観客から大きな歓声が上がった。

鳥の海公園では午後7時過ぎから東日本大震災や海難事故の犠牲者、祖霊をしのぶ灯籠流しが行われ、夕暮れの水面に幻想的な明かりが点々と浮かんだ。

灯籠の数は406個。震災で犠牲になった町民の人数に、震災を描いた舞台「小さな神たちの祭り」の出演者や来場客がメッセージを書いた100個を加えた。出演者の吉田葉乃さん(9)「東京都は『飼っていた鳥が今年死んだので、大好きで(天国でも)元気でいてほしいと願いを込めました」と話した。

(8月17日朝刊より)

河北新報の仕事 がんばった

仙台市スチューデントシティ支局員紹介



若林小6年、西中田小6年 (7月14日)



幸町南小6年、高砂小6年 (7月15日)



生出小6年、荒井小6年 (7月16日)



小松島小6年 (8月26日)

「スチューデントシティ」は、仙台市内の小学5、6年生が仕事をして給料をもらい、買い物や納税をする「小さな街」です。河北新報社は、紙面編集などの仕事を体験する支局を開設しています。